

令和 7 年度 東京都立中野工科高等学校（全日制課程）学校経営報告

東京都立中野工科高等学校長

## 教育目標

教育基本法にのっとり、民主的な社会の有為な国民の育成を期し、次の目標達成に努める。

- 1、人権尊重の精神と自主独立の精神を高める。
- 2、責任感と創造力の育成を図る。
- 3、地域社会・国際社会の理解及びそれに貢献できる能力を確立する。

## 1 目指す学校

### スクールミッション

「人権尊重の精神と自主独立の精神を高め、責任感と創造力の育成を図る」教育目標のもと、地域社会・国際社会の理解及びそれに貢献する能力を確立し、生徒の自立と社会参加を目指し、「キャリア技術科」、令和六年度から始まる「食品サイエンス科」において専門的技術と知識を身に付けるとともに、生徒一人一人の潜在的な能力を伸ばさせます。

### スクールポリシー

#### (1) グラデュエーション・ポリシー

- ① 高校生活・社会的自立の基盤となる判断力・行動力を養う。
- ② 社会生活・就業に必要となる基礎学力の向上を図り、工業分野の知識・技術力を習得する。
- ③ 自立した生活に必要な自律力・規範意識の向上を図る。
- ④ 適切なコミュニケーションに必要な理解力・表現力を育成する。
- ⑤ 互いに尊重しあい協同していける力を育成する。

#### (2) カリキュラム・ポリシー

- ① 30分授業や習熟度別授業を活用した、学びなおしによる基礎学力の定着を図る。
- ② 工業の専門性の充実を図り、資格取得や就職に耐えうる能力を養う。
- ③ キャリアガイダンスの充実を図り、コミュニケーション能力や社会性を養う。
- ④ 体験的な活動、作業を伴う活動、書かせる活動、考えさせる活動、話し合わせる活動、発表する活動を授業に取り入れることにより、教育活動を充実させる。
- ⑤ 通級指導を実施し、発達障害の生徒に対して自立活動の支援をする。

#### (3) アドミッション・ポリシー

- ① 食品サイエンスに関する工業技術に興味があり、社会人として自立していくために意欲的に授業へ取り組んでいける。
- ② 自分の在り方生き方を見つめ、就職、進学、資格取得等に向けて、目標をもってコースを選択できる。
- ③ すすんで挨拶するなど、よりよい人間関係を築き、他人を思いやることができる。
- ④ 学校や社会の規則・マナーを守り、責任のある行動がとれる。
- ⑤ 学校行事、部活動、生徒会活動、学級活動に積極的に参加し、まわりと協調性がとれる。
- ⑥ 自ら決めた目標に対し、最後まであきらめずに努力を惜しまずチャレンジできる。

## 目指す学校

### (1) 入学し、卒業して良かったと心から思える学校

工業科エンカレッジスクールとしての教育活動の特色を活かし、様々な学習活動から、生徒一人ひとりの潜在的な能力を伸ばすとともに、生徒を力づけ、自信を付けさせ、希望の進路への実現ができるように育成する。

**(2) 落ち着いて学べる環境をつくり、能力に応じたきめ細かい学習活動を行い、学力を伸ばさせる学校**

生徒達が安心して学べる環境づくりを行うとともに、生徒の能力に応じた授業内容や方法によるきめ細かな指導を行い、全ての生徒に高校以前の学習内容を含め、社会的・職業的自立に必要な基礎的な学力を確実に身に付ける。

**(3) 一人ひとりの人権を尊重し、社会的規範と思いやりの心を育てる学校**

生徒の個性の伸長を図るとともに、自他の基本的人権を尊重する精神を培い、互いに尊重しあい、適切にコミュニケーションがとれる力を身に付け、安全指導、問題行動防止、生命の尊さ、いじめ防止に向けた指導を徹底し、社会人としての必要な礼儀やマナー、規律や態度を身に付ける。

**(4) 主体的、意欲的に進路選択ができる能力とともに、社会性を育成する学校**

キャリアガイダンスを通じて、3年間を見通した計画的なキャリア教育を行い、進路実現に向け、自ら意欲的に取り組める力や、コミュニケーション能力、社会的自立に必要な力を確実に身に付ける。

**(5) 保護者や地域住民と連携して生徒を育てる地域に開かれた学校**

保護者と連携し、基本的な生活習慣の定着を図り、健康的な生活習慣を身に付けさせる。また、地域に信頼され、開かれた学校を目指す「地域に根ざした中野工科高校づくり」を進め、社会貢献の意義を考えさせ、道徳教育の充実を図る。

## 2 中期的目標と方策

**(1) 学校経営** 「学校経営計画を実現する学校運営体制の工夫、改善を行う。」

- ①教職員が相互に信頼し、協力し合える職場環境の構築を推進する。
- ②校務分掌の取組目標と課題を学校全体で共有し、全教職員が共通理解の基、課題解決に向けて取り組むとともに、進行管理と状況把握を行いながら、組織的に対応する。
- ③企画調整会議の充実と経営参画型の経営企画室の体制づくりの充実を図る。
- ④自律経営推進予算の編成と計画的・効率的に執行を行うとともに、施設の管理と環境整備を行い、教育活動の充実を図る。
- ⑤カリキュラムマネジメントを行い、生徒の実態にあった食品サイエンス科の教育課程編成と、効果的な教科指導法の改善を図る。
- ⑥新校舎の完成を目指し、施設・設備に関する計画的な検討と新校舎への移転計画、備品管理を行う。
- ⑦学校運営連絡協議会による提言や授業公開等の意見を積極的に取り入れ、学校経営の改善を図る。
- ⑧校内研修等を通して、特別な支援が必要とする生徒の対応や授業改善、服務事故防止等教職員の対応力の強化を図る。
- ⑨働き方改革プランを推進させ、仕事の割り振りと効率を図り、ライフ・ワーク・バランスの実現を推進する。

**(2) 学習指導** 「学校の教育活動全体を通して、ルーブリックにより教科横断的に育成すべき資質・能力への評価基準を示し、朝学習、30分授業、習熟度別授業、少人数授業により、きめ細かなわかる授業を展開し、生徒の学習状況を見極める。また、生徒の学習を促し、学習習慣を定着させ、確実に基礎学力の定着・向上を図る。」

- ①習熟度別授業、少人数授業を活用し、基礎学力の定着と向上を図る。
- ②確認テストや基礎力診断テスト等を活用し、生徒の学力を把握し、生徒の実態にあった学習計画の策定と、定時制課程と連携した教員相互の授業参観を活用した授業改善に向けた校内研修等を実施する。
- ③工科高校資格取得アシスト制度を活用した資格取得や検定試験合格、コンテストの参加など生徒に具体的な目標を示すことで、成果を実感できる指導の工夫を行う。
- ④生徒が自ら課題を発見し解決する「探究的な学び」に対し、個に応じたきめ細やかな指導の充実を図る。

- ⑤エンカレッジスクールとしての到達度目標に向けた学習評価方法の改善を行う。
- ⑥ICT機器等を活用した授業の充実と一人1台端末を利用した授業により、学習に対する生徒の興味・関心を高める。
- ⑦特別な支援を要する生徒の対応として、個別の支援計画を策定し対応する。
- ⑧校内寺子屋による学習支援を行い、特に苦手な教科の学力の向上を図る。
- (3) **生活指導** 「よき社会人となるために必要な基本的な生活習慣、規範意識、公共心を育成する。」
  - ①自立支援事業継続派遣校として、全教職員が一体となって自立支援チームと連携し、SC・YSWとの連携を深めるなど、中途退学者や不登校生徒等へ組織的に対応する。
  - ②特別活動・部活動等と学習活動の両立を図り、社会の一員としてよりよい生活を築こうとする態度を育成する。
  - ③安全教育を重視し健康と安全保持の充実を図り、事故防止に努める。
  - ④家庭と連携した望ましい生活習慣の確立、社会性や規範意識、公共心を育む規律指導の徹底を図る。
  - ⑤部活動への加入を推奨し、部活動の活性化と体力の向上を図る。
- (4) **進路指導** 「進路実現に向け、健全な職業観・勤労観を育み、社会人・職業人として必要な力を身に付ける。」
  - ①キャリア教育の視点に立ち、高校3年間を見通したキャリアガイダンスの編成・実施・改善を進める。
  - ②企業・上級学校との連携による体験の拡充と健全な職業観・勤労観の育成につながるインターンシップ等の体験的活動を一層充実させる。
  - ③体験的活動や個別指導の充実による進路意識の高揚と進路希望の実現を図る。
- (5) **健康づくり** 「心身共に健康な体づくりに向けて主体的な取り組みができる力を育成する。」
  - ①生徒、教職員の健康管理を行うとともに、基本的な感染症対策を徹底して行う。
  - ②心身共に健康な体づくりや体力向上に向けた、授業改善、体験活動、学校行事の工夫を行う。
  - ③学校保健計画の組織的な実施を図る。
  - ④全ての教員が、教育活動全体を通じて、生命を尊重する心の育成を推進する。
  - ⑤適応指導や教育相談にかかわる校内研修および活動の更なる充実を行う。
- (6) **地域交流** 「生徒の地域貢献・社会貢献活動をより活発化し、生徒に自信を付けさせるとともに、自己表現力やコミュニケーション能力を高める。」
  - ①地域に根ざした「体験学習」や環境教育（地域美化活動）を実施するとともに、地域に開かれた学校づくりを行う。
  - ②公開講座、出前授業、わくわくドキドキ夏休み工作スタジオの改善、充実を図る。
- (7) **防災教育** 「防災教育を推進・強化」
  - ①東京都及び中野区、消防署、地域と連携し、計画的な防災教育の充実を努める。
- (8) **募集・広報活動** 「学校の広報活動を更に活性化させ、都民の本校に対する理解を高め、中学生・保護者に選ばれる魅力ある学校づくりに努める。」
  - ①推薦、分割前期、分割後期募集における入学者選抜方法の工夫を行う。
  - ②広報・PR組織の強化、学校ホームページの随時更新、PR動画の制作、学校説明会、体験入学等の広報活動の改善、充実を図る。
  - ③学校開放事業や公開講座、出前授業、体験教室の充実を図る。

### 3 今年度の取り組み目標と方策：工業科エンカレッジスクールとしての着実な前進と「キャリア技術科」と「食品サイエンス科」において着実な育成を目指す。

#### (1) 教育活動の目標と方策

##### ①学校経営・組織体制

ア 工業科エンカレッジスクールとしての使命を果たせる組織づくりを推進する。

○学年と分掌の情報の共有化を図ると共に、円滑で効率的な学校経営を推進する。

○学校経営計画の実現に向け、庶務・経理・学事等の各部門において、教育活動を充実させるための事務運営を工夫、実践し、適正かつ効果的な予算管理と計画的な執行に努め、教育

環境の向上に努める。

○環境の保守改善に努め、安全・安心な学校づくりに努める。

イ 教員の意識改革と資質・能力の向上を図る。

○授業改善・教材開発・オンライン授業、教育相談、体罰防止等の服務に関する校内研修及び、OJTを計画的、組織的に実施し、教員の意識改革とエンカレッジスクールにおける教育活動に加え、食品サイエンス科として必要な資質・能力の向上を図る。

ウ 個人情報の保護・管理と体罰防止の取り組みを徹底して行う。

○個人情報の保護・管理と体罰防止に向け、校内研修を充実すると共に日常的な組織的取り組みを強化する。

エ 食品サイエンス科の教育課程の充実に向けた取組を行う。

○食品サイエンス科の専門性を向上できる授業の充実。

○食品サイエンス科の教育課程のブラッシュアップを行う。

○食品サイエンス科の広報活動を充実させる。

オ 働き方改革プランを推進させ、仕事の効率を図り、ライフ・ワーク・バランスの実現を図る。

○計画的、組織的な仕事の進め方により業務の効率化の徹底を図り、教職員一人ひとりのライフ・ワーク・バランスの実現を図る。

○部活動指導を見直し、部活動指導員や外部指導員を活用するなど、教員の在校時間の縮減を図る。

○計画的、組織的な仕事の進め方により業務の効率化の徹底を図り、教職員一人ひとりのライフ・ワーク・バランスの実現を図る。

○部活動指導を見直し、部活動指導員や外部指導員を活用するなど、教員の在校時間の縮減を図る。

## ②学習指導

ア 学習習慣を身に付けさせ、義務教育段階から基礎・基本を理解させ、進路実現ができる学力を育成する。

○30分授業やベーシックの時間（学び直しの時間）、習熟度別授業・少人数授業により、授業に集中させる。また、朝学習や基礎学力定着のために共通テストの実施、座学・実習におけるICT機器の活用により確実に学力を高める。キャリア・パスポートなどを利用したポートフォリオを構築させる。

○工科高校資格取得アシスト制度を活用した資格取得や検定試験合格への挑戦、各種競技会・展示会への参加、課題研究発表会でのプレゼンテーションなど、具体的な目標達成のための指導を継続して実施し、生徒のやる気を高める。

○教育活動を充実するためのしかけを行い、生徒が意欲的・主体的に学べるよう授業内容、指導方法、学習評価の在り方を工夫・改善する。特に、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善を行うための校内研修を実施する。

○特に義務教育段階の学び直しが必要な生徒に対して、校内寺子屋による外部人材を活用し、基礎学力の定着を図る。

○生徒が自ら課題を発見し解決する「探究的な学び」に対し、「課題研究」、「探求」において外部人材を活用し指導の充実を図る。

## ③生活指導

ア 生徒理解に努める。

○毎日の生徒の様子を観察するとともに、教員間の生徒情報の共有に努め、スクールカウンセラー、ユースソーシャルワーカーとの一層の連携など、教育相談活動の充実を図る。

○教職員と保護者との連携により、生徒の不安や悩みの解消に向け、教育相談体制を充実させる。

イ 生徒に基本的な生活習慣や規範意識、自信を付けさせ、好ましい人間関係の確立を支援する。

○規範意識向上の取組として、中工スタンダードを活用し、校則を守り基本的な生活習慣や規範意識を身に付けさせる指導を全教員が一致して行う。

○様々な社会貢献により生徒に自信を付けさせるとともに、コミュニケーション能力を高め

る指導を通して互いを尊重しあう態度を培い、いじめ・暴力を絶対に許さない環境づくりに取り組む。

○いじめ問題に関して、早期発見、早期対応に努めるとともに、適切に対応するため、個々の教員のいじめ問題への敏感な感覚と的確な指導力を高め、どんなに小さいいじめと思われる事案に対しても、学校全体による組織的な取組により解決を図れる体制づくりを行う。

④進路指導

ア 望ましい職業観・勤労観を醸成する。

○各学年の生徒の実情に応じた年間の進路指導計画を作成し、インターンシップや進路講話、職業的自立支援プログラムなど外部機関と連携し、キャリア教育の一層の充実を図り、生徒の進路意識を向上させる。

(2) 重点目標と方策、数値目標

①エンカレッジスクールの特色ある教育活動と自立支援事業継続校を通して生徒の学校生活を支援し、中途退学者数を減らす。

	1 学年	2 学年	3 学年
数値目標	10 人以下	5 人以下	0 人
令和 7 年度	9 人	2 人	0 人
令和 6 年度	11 人	2 人	1 人
令和 5 年度	6 人	4 人	1 人

●1 学年では、特性を持った生徒や中学校時より不適切な行いを行っていた生徒が一部入学してきたが、高校生活で改善できるよう保護者や外部機関と連携を図りきめ細かく対応してきた結果、目標を達成した。

●2 学年についてはきめ細やかな指導、保護者との連携を図り、目標を達成した。

●3 年生についてはきめ細やかな指導、保護者との連携を図り、目標を達成した。

②キャリア教育の一層の充実を図り、自己の適性を見出させ、進路希望の実現を図る。

項 目	数値目標	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
生徒一人一資格取得率	平均 3 個	平均 0. 16 個	平均 0. 18 個	平均 0. 53 個
就職一次内定率	85 %	71 %	56 %	87 %
就職最終決定者率	100 %	98 %	100 %	100 %
卒業時の進路未定者率	1 %以下	5 %	12 %	6 %

●資格取得者延べ 54 名、平均 0. 16 個と前年度より減少した。生徒、保護者からの資格取得については期待されているので、次年度積極的にできるよう工夫を施す。

●求人状況は好調であったが、面接や筆記試験で一定以上の結果を出さないと内定はもらえないことを認識した。学年担任をはじめ学校全体で生徒の希望進路実現のための体制を再構築する。学校求人斡旋希望者の最終内定結果は 98%、縁故など希望する生徒 5 名を残し決定できた。5 名については、ハロワーク等と連携して引き続き指導を行う。

③全教員が一体となった組織的な取組により、基本的な生活習慣の定着と規範意識の徹底を図る。

項 目	数値目標	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
年間欠席日数が 20 日以上の方	15 人以下	45 人(11)	15 人(3)	13 人
特別指導件数	20 件以下	15 件	19 件	23 件

●年間欠席日数が 20 日以上の方の人数は目標値であった。15 人の内 ( ) の生徒は、持病などによる特別な事情や学校生活になじめず進路変更を考えていた生徒で、怠惰などの理由による人数は 34 人となる。担任団は、家庭と密な連絡や決め細やかな指導を行っていたが、昨年度と比べると年間欠席日数 20 日以上の方の生徒数は大きく増加した。

●学校外での喫煙、飲酒、校内での破損等による特別指導は少なく、悪ふざけやノリなので不健全な行為、対人関係のもつれの事例がほとんどである。日常的な指導の中で、児童生徒一人一人を把握し、生徒との信頼関係を築き、教育活動を通じてきめ細かな指導を行う。

④校内研修により教育相談の一層の充実を図る

項目	数値目標	令和7年度	令和6年度	令和5年度
教育相談に関わる校内研修	5回以上	6回	3回	3回

- 全体の研修として手は、自立支援関係と通級による指導の研修を各学期で課題となる内容に沿った研修会を行った。その他、生徒の状況の応じて、関係者等を中心とした研修会をその都度行い理解を深めた。

次年度に向け、より発展し充実した研修会を実施、教職員の資質向上を目指す。

- ⑤学校PR活動の一層の充実を図り、より本校に合った生徒の入学を目指す。

項目	数値目標	結果
学校説明会の参加人数（保護者と中学生）	500名以上	延べ1101名

- 学科改編に広報活動を充実するためグランドデザインのリーフレットを作成し、外部団体主催の学校見学会、地域の学校と連携した学校説明会、さらに学校独自の説明や個別相談会を実施した。その結果、説明会の参加人数が飛躍して増加し広報活動は成功した。

入学者選抜の応募者数の比較（令和7年度、令和6年度、5年度入学者選抜）			
項目	令和8年度	令和7年度	令和6年度
推薦のもとづく入学者選抜	1.57倍 (88名)	1.21倍 (68名)	1.30倍 (73名)
一次募集 (R6以前は分割前期募集)	0.82倍 (69名)	1.83倍 (53名)	0.92倍 (58名)
二次募集 (R6以前は分割後期募集)	0.43倍 (7名)	1.32倍 (10名)	0.63倍 (17名)
第3次募集	0.00倍 (0名)	0.05倍 (1名)	0.20倍 (2名)
出願倍率（延べ受検者数）	1.17倍 (164名)	0.94倍 (132名)	0.06倍 (149名)
入学予定者数（充足率）	131名 (93%)	120名 (86%)	132名 (94%)

出願数の変容			
項目	令和8年度	令和7年度	令和6年度
出願した女子生徒数(割合)	56名(34%)	49名(41%)	48名(36%)
出願した女子生徒数変化率	前年比1.14倍	前年比1.02倍	前年比1.65倍
出願した男子生徒数(割合)	108名(66%)	71名(59%)	84名(64%)

- 広報活動の成果として、出願数、充足率も向上した。「食品サイエンス科」に期待を寄せる表れだと考えられる。女子生徒の出願も増えたが、男子生徒の出願も増加したため、割合としては減っている。

令和8年度も引き継ぎ、充実した教育活動を展開し、都民や保護者、受検生に選ばれる学校経営を推進する。

- あらたな広報戦略を策定し、出願者数の向上に努めたい。

- ⑥研究授業・研究協議を積極的に実施し、教員の授業力向上を図る。

項目	数値目標	令和7年度	令和6年度	令和5年度
教員相互の授業参観	年5回以上	6回	1.22回	1.3回

- 若手教員が積極的に相互授業参観に参加し、授業力の向上に努めた。次年度は、教員相互の授業参観期間中に教師道場や若手教員を中心とした研究授業日を設けて、さらなる指導力向上に努める。

【教務部結果報告】

1. 今年度の成果と課題

- (成果)
- ・授業内での規律と規範を向上させることができた
  - ・成績処理システムの管理と運用を適切に行うことができた
  - ・学校見学会、学校説明会、外部説明会など広報活動を充実させることができた

- (課題)
- ・実習棟改築に伴い、授業環境の整備を十分に行うことが求められる
  - ・食品サイエンス科の教育課程編成を適切に行うことが求められる
  - ・広報活動のさらなる充実が急務である

2. 令和7年度の主な行事

月	本校行事予定	留意点・改善点	
4	1学期始業式 入学式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新校舎移転に伴う、授業環境の整備と確認</li> <li>・教員間における横断的な授業力向上の連携</li> <li>・確認テストの適正な実施</li> <li>・校内行事の精選と充実</li> <li>・授業を中心とした学校生活の意識付け</li> <li>・校内見学会並びに外部相談会等の更なる参加者拡大</li> </ul>	
5	確認テスト①		
6	授業公開①		
7	確認テスト② 1学期終業式 学校見学会①		
8	学校見学会②		
9	2学期始業式		
10	確認テスト③ 中工祭相談ブース		
11	授業公開②・学校説明会①(同日開催)		
12	確認テスト④ 学校説明会② 2学期終業式		
1	3学期始業式 個別相談会 推薦選抜入試		<ul style="list-style-type: none"> <li>・入試業務の適正な進行管理</li> <li>・入学希望者の拡大推進</li> </ul>
2	一般入試 確認テスト⑤ (3年)		
3	確認テスト⑤ (1・2年) 卒業式 修了式		

3. 来年度の重点項目 (特に力を入れる活動や運営)

<基礎学力向上>

- ・エンカレッジスクールとして、学び直しを中心とした学習の徹底
- ・授業における規律と規範の更なる徹底
  - 新実習棟工事に伴う、授業環境の整備の徹底
  - 学び直しを踏まえた、食品サイエンス科の教育課程編成の充実

<学校広報活動>

- ・授業公開や学校見学会、学校説明会を充実させ、本校に対する理解を高め、中学生・保護者に選ばれる魅力ある学校づくり
- ・外部説明会等に積極的に参加し、募集対策の充実を図る

## 【生徒部結果報告】

<p>1. 昨年度の成果と課題</p> <p>(成果) ・生徒指導、生徒支援に対して、学年や教科担任と連携し、丁寧な対応をおこなうことができた。 特に、生徒指導に関して事案が減った。 ・特別活動に関しては、体育祭と文化祭に生徒が主体となり、取り組むことができた。</p> <p>(課題) ・分掌内の組織的な取り組みの整理と効率化を目指す。</p>																																									
<p>2. 今年度の重点目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別活動・部活動等の充実を図る。</li> <li>・安全教育を重視し、健康と安全保持の充実を図り、事故防止に努める。</li> <li>・生徒の自立支援のために、教育相談体制を充実させる。</li> <li>・地域と連携し、計画的な防災教育の充実を努める。</li> </ul>																																									
<p>3. 令和7年度の予定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>実施予定</th> <th>留意点・改善点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>対面式、部活動紹介、一斉委員会、定期健康診断、</td> <td>部活動加入促進</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>前期生徒総会 避難訓練 歯科検診</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>体育祭</td> <td>体育祭裏面</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>薬物乱用防止教室 都立工科高校PRイベント 学校見学会</td> <td>講演会 生徒会</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>芸術鑑賞教室 学校見学会</td> <td>生徒会参加</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>避難訓練</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>後期生徒総会、生徒会役員選挙、中工祭（文化祭）</td> <td>中工祭（入場制限なし）</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>学校説明会、避難訓練</td> <td>生徒会</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>セーフティ教室、防災教室（2年） 学校説明会</td> <td>防災教室（消防署・自衛隊・地域と連携）生徒会</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>防災活動</td> <td>防災支援隊（生徒会）</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>新入生部活動紹介の準備等</td> <td>生徒会の企画立案</td> </tr> </tbody> </table>			月	実施予定	留意点・改善点	4	対面式、部活動紹介、一斉委員会、定期健康診断、	部活動加入促進	5	前期生徒総会 避難訓練 歯科検診		6	体育祭	体育祭裏面	7	薬物乱用防止教室 都立工科高校PRイベント 学校見学会	講演会 生徒会	8	芸術鑑賞教室 学校見学会	生徒会参加	9	避難訓練		10	後期生徒総会、生徒会役員選挙、中工祭（文化祭）	中工祭（入場制限なし）	11	学校説明会、避難訓練	生徒会	12	セーフティ教室、防災教室（2年） 学校説明会	防災教室（消防署・自衛隊・地域と連携）生徒会	1	防災活動	防災支援隊（生徒会）	2			3	新入生部活動紹介の準備等	生徒会の企画立案
月	実施予定	留意点・改善点																																							
4	対面式、部活動紹介、一斉委員会、定期健康診断、	部活動加入促進																																							
5	前期生徒総会 避難訓練 歯科検診																																								
6	体育祭	体育祭裏面																																							
7	薬物乱用防止教室 都立工科高校PRイベント 学校見学会	講演会 生徒会																																							
8	芸術鑑賞教室 学校見学会	生徒会参加																																							
9	避難訓練																																								
10	後期生徒総会、生徒会役員選挙、中工祭（文化祭）	中工祭（入場制限なし）																																							
11	学校説明会、避難訓練	生徒会																																							
12	セーフティ教室、防災教室（2年） 学校説明会	防災教室（消防署・自衛隊・地域と連携）生徒会																																							
1	防災活動	防災支援隊（生徒会）																																							
2																																									
3	新入生部活動紹介の準備等	生徒会の企画立案																																							
<p>4. 今年度の重点項目（特に力を入れる活動や運営） 最終報告</p> <p>&lt;基本的な生活習慣の確立と規範意識&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年と連携を取り、遅刻指導を行うことができた。生徒部指導の場合は反省文だけでなく、面接やYSWに入る機会を作り、生活改善に繋がるよう継続指導している。</li> <li>・3学期、登校時に身だしなみ指導を職員全員で行った。効果はあり、今後も学期に1回は行いたい。</li> </ul> <p>&lt;学校行事・部活動・生徒会活動の活性化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭・体育祭など、行事を一生懸命取り組む生徒が多く、できるだけ活躍の場が広がるよう今後も取り組んでいきたい。文化祭に関しては、食品サイエンス科が3学年揃い、工業高校の文化祭らしくものづくりや食販等、学校としてどのように取り組むかが今後の課題となり、現在話し合いを進めている。</li> <li>・生徒会は文化祭や学校説明会、防災活動など積極的に参加し、生徒たちの成長が見られた。</li> </ul> <p>&lt;健康教育、安全教育等の推進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心の教育、安全教育、健康教育等、学期ごとに取り組んだ。</li> </ul> <p>&lt;生徒の自立支援&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SC・YSW等との情報共有を図り、支援委員会を毎月実施した。校内研修を4月、1月と行った。今年は保護者の面談も積極的に取り入れた。大変よかった。学年、養護教諭等と連携を取り、必要に応じてSC・YSWに繋げる。生徒が学校生活を安心して送れるよう今後も支援を続けて行く。</li> </ul>																																									

【進路指導部結果報告】

<p>1. 昨年度の成果と課題</p> <p>(成果) ・生徒の希望に応じた進路指導を実施し、多くの生徒の進路を確定した。          ・求人票の閲覧システムを運用し、効率的な進路指導ができた。          ・インターンシップを実施し、全職員の協力のもと事故なく完遂した。</p> <p>(課題) ・インターンシップ派遣先と就職先がほとんど一致していない。          ・卒業後の追跡調査ができていない。</p>																																									
<p>2. 今年度の重点目標 (今年度の学校経営計画より)</p> <p>・進路未定のまま卒業する生徒を1%以下にする。          ・進路に関する情報を効率的に生徒、保護者に提供し主体的な進路実現につなげる。          ・インターンシップと就職活動の連動を図る。          ・学年と連携を図りキャリア教育の中核を担う。</p>																																									
<p>3. 令和7年度の実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>内容</th> <th>留意点・改善点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>進路ガイダンス (学年集会)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>進路ガイダンス (就職・進学全般、奨学金関係)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>学校斡旋就職 受験会社仮選定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>進路希望最終調査提出 進路ガイダンス (履歴書) 就職選考会議</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>職場見学実施 進路ガイダンス (面接指導)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>進学選考会議 全職員による面接指導</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>就職書類提出</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>進学推薦入学 インターンシップ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>進路ガイダンス (学年集会)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>社会人におけるマナーの講演 (ハローワーク主催)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>インターンシップ運営連絡協議会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>進路ガイダンス</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			月	内容	留意点・改善点	4	進路ガイダンス (学年集会)		5	進路ガイダンス (就職・進学全般、奨学金関係)		6	学校斡旋就職 受験会社仮選定		7	進路希望最終調査提出 進路ガイダンス (履歴書) 就職選考会議		8	職場見学実施 進路ガイダンス (面接指導)		9	進学選考会議 全職員による面接指導		10	就職書類提出		11	進学推薦入学 インターンシップ		12	進路ガイダンス (学年集会)		1	社会人におけるマナーの講演 (ハローワーク主催)		2	インターンシップ運営連絡協議会		3	進路ガイダンス	
月	内容	留意点・改善点																																							
4	進路ガイダンス (学年集会)																																								
5	進路ガイダンス (就職・進学全般、奨学金関係)																																								
6	学校斡旋就職 受験会社仮選定																																								
7	進路希望最終調査提出 進路ガイダンス (履歴書) 就職選考会議																																								
8	職場見学実施 進路ガイダンス (面接指導)																																								
9	進学選考会議 全職員による面接指導																																								
10	就職書類提出																																								
11	進学推薦入学 インターンシップ																																								
12	進路ガイダンス (学年集会)																																								
1	社会人におけるマナーの講演 (ハローワーク主催)																																								
2	インターンシップ運営連絡協議会																																								
3	進路ガイダンス																																								
<p>4. 今年度の重点項目 (特に力を入れる活動や運営)</p> <p>&lt;進路研究を十分に行わせ、生徒の適性に応じて主体的に進路選択を行わせる&gt;</p> <p>①求人、進学に関する最新の情報を提供し、生徒が情報を吟味できる環境を整備する。          ②学年と協力し、適切な助言や支援を行う。          ③生徒にとって有意義な進路ガイダンスを随時実施する。          ④進路活動の方向性を提示することでキャリア教育の中核を担う。</p> <p>&lt;インターンシップを計画的に運営し、効果的な職業体験を行う&gt;</p> <p>① 受入れ企業、関係団体と連携し、信頼関係を構築し将来的な生徒の進路実現につなげる。          ② インターンシップの見直しを行い、改善点を共有することで効果的な行事として定着させる。</p>																																									

## 5. 成果報告

### ・令和7年度進路状況（昨年度人数）

学校斡旋就職 62名（22名） 公務員 1名（1名） 縁故就職 1名（3名）  
4年制大学 3名（6名） 短期大学 0名（4名） 専門学校名 21名（23名）  
都立職業能力開発センター 3名（1名） その他 5名（8名）

#### 学校斡旋就職内定企業

3rd株式会社/CSエコー株式会社/アート引越センター株式会社/あさひ寿司/オークラサービス株式会社/キューピータマゴ株式会社/コーナン商事株式会社/サトウ食品株式会社赤羽工場/ブリヂストンリテールジャパン株式会社/マルニシテグラ株式会社/有限会社萩澤瓦店/株式会社いなげや/株式会社オムテック/株式会社カクヤス/株式会社かに道楽(関東地区)/株式会社コジマ/株式会社ねぎしフードサービス/株式会社ハイデイ日高/株式会社バッファロー/株式会社ハルタ/株式会社はれコーポレーション/株式会社ポールスタア/株式会社マルエツ/株式会社柿安本店東京本部/株式会社関電工/株式会社紀ノ國屋/株式会社京王ストア/株式会社玉川造園/株式会社市川建設/株式会社泉屋東京店/株式会社第一ビルメンテナンス/株式会社電巧社/株式会社東ハト/株式会社八洋/株式会社備長/株式会社TMEIC/株式会社アイネット/株式会社ジェイルート/株式会社フナミ電機製作所/株式会社共立メンテナンス/株式会社銀座木村屋/株式会社崎陽軒/株式会社長津製作所/鴨下設備工業株式会社/金子架設工業株式会社/月島食品工業株式会社/古川オール株式会社/工藤建設株式会社/山九株式会社/小島屋乳業製菓株式会社/神戸レザークロス株式会社/第一屋製パン株式会社小平工場/東洋メビウス株式会社/日清医療食品株式会社東京支店/日本航空電子工業株式会社/日本通運株式会社関東甲信越ブロックFBU海運/武蔵野工業株式会社/文化シャッターサービス株式会社/壽食品工業株式会社

#### 公務員

警視庁

#### 4年生大学

帝京平成大学/産業能率大学/大正大学

#### 専門学校

国際医療専門学校/さかなの専門学校/品川介護福祉専門学校/スポーツ医療専門学校/東京工科自動車大学校/東京テクニカルカレッジ/日本工学院専門学校/織田製菓専門学校/織田調理師専門学校/東京調理製菓専門学校/吉祥寺二葉製菓専門職学校/赤堀製菓専門学校/竹早教員保育士養成所/東京工科自動車大学校/日本電子専門学校/

### ・令和7年度インターンシップ

11/12~14（3日間）実施  
受け入れ可能企業数74社  
生徒派遣先企業数48社  
2/13連絡協議会実施

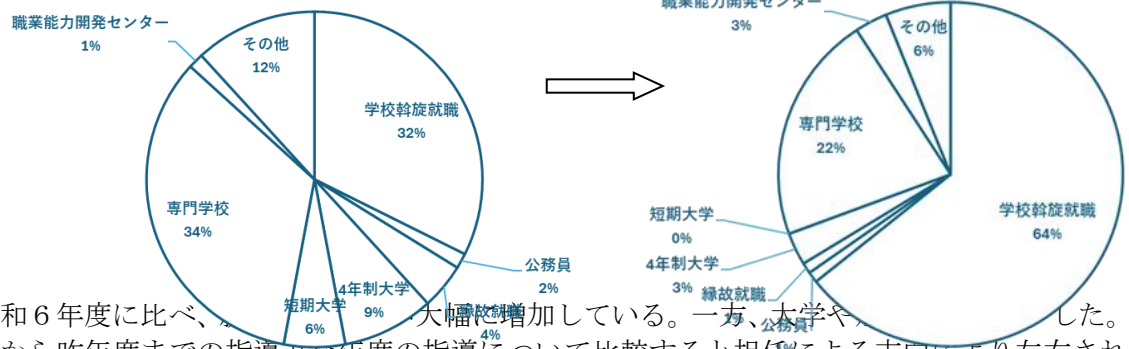
6. 今年度の振り返り

・進路状況について

令和7年度の就職求人状況に関しては、求人数は1600社3000求人を超え、昨年度に引き続き非常に好調であった。今年度の就職希望者は昨年度に比べ増加傾向にあると共に進学希望者が減少した。

令和6年度

令和7年度



令和6年度に比べ、就職先が大幅に増加している。一方、大学や短大の進学希望者が減少した。このことから昨年度までの指導と今年度の指導について比較すると担任による志向により左右されることがわかった。

また、その他として進路がまだ未決定の生徒がいる。その内訳としては家庭の事情についてが半分を占め、学校の指導では限界があることも理解した。

・インターンシップについて

本年度のインターンシップでは、2学年（108名）が令和7年11月12日（水）から14日（金）までの3日間で実施した。協力企業数は74社（昨年85社）で派遣企業数が48社（昨年43社）であった。

生徒の満足度も99%と高く、積極的に取組めたかについて問い合わせたところ99が積極的に取組めたと回答があった。一方、今回経験した職種や業種に就職したいと思う生徒の割合が63%と低かった。就業体験をしてくるとい観点から考えると、その職業に就職したいかという数字は高いのか低いのか判断しづらい。しかしながら、昨年度のインターンシップ先と今年度の就職先が一致している生徒がいなかったデータにくらべ、生徒の感想の中にはインターンシップ先の企業に行きたいという生徒も現れたため良い体験ができたのではないかと考えられる。

一方、企業側のアンケートとしては来年度の生徒受け入れについて賛成してくれている回答が100%であったため本校生徒の印象は悪くなかったのだと判断できる。

7. 来年度の重点項目（特に力を入れる活動や運営）

- (1) 大学や短大の指定校推薦をはじめ、生徒に提供できる進学先を増やす。
- (2) 来年度は、食品サイエンス科として完成年度である。特に食品業界に興味がある生徒が多いと思うため、よりスムーズな情報提供に励む。
- (3) インターンシップの活動が学校全体で取り組めるような体制をつくる。

